

11月22日(月)開催 (山直南校区)

| 番号 | ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)   | 教育委員会の回答・考え方  |
|----|---|---|
| 1  | <p>小中一貫校設置についてはある程度賛成！</p> <p>しかし、包近町、山直中町については、山滝小中一貫校とし、山滝小中一貫校を現山直南小学校の場所へ設置する事が適当である。</p> <p>山直中学と山滝中の人数を考慮してみても、包近、山直中は山滝へが妥当。現山滝中の場所の広さ、通学距離を考慮してみても現山直南小へ設置することが妥当。</p> <p>地域コミュニティを大切にするというのであれば、包近、山直中は山滝であるし、せっかく今回、適正規模適正配置を行っても、数年後に山滝小中一貫校の人数は減少の一方であり、見直しが必要になってくるはず。であれば今、包近、山直中が山滝が妥当！</p> <p>☆小中が山滝になること、うわさにより増加しかけていた岸の丘への移住を断念する人が出てくるのでは！？</p> <p>☆(案)ありきでなく、本日出した意見を「案2」として同じたたき台にのせて作ってほしい。</p>                    | <p>山直南校区の児童が中学校進学の際、2つの中学校に分かれて進学することは、教育委員会としても、友達と別々の中学校に分かれてしまったり、義務教育9年間の連続した学びを提供する上で課題があると考えており、適正規模・適正配置の取組を通じて解消していきたいと考えています。第1期計画案では、既存の中学校区を単位とした再編案をお示しているところですが、説明会においても、山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見を多くいただきました。また、山直南小学校区に小中一貫校の設置を、といったご意見も多くいただいています。</p> <p>教育委員会としては、地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p>  |
| 2  | <p>①稲葉町として、今年1月末に町民の署名及び稲葉町としての要望書を提出しているが、この10ヶ月の間、何も実施計画(案)を修正することなく、説明会の開催することに対し、町民等を無視した方となり、当該実施計画をどうしても通そうとしているしか見えない。</p> <p>②生徒数の減少等で「適正規模及び適正配置実施計画」を作成する必要性については認められるが、現代の実施計画(案)については、単に山滝中学校へ生徒を集約する事しか考えていない状況である。</p> <p>生徒数を適正化している分けではない。例えば現山直南小学校を小中一貫校の場所にし、現山直南小(包近、山直中、稲葉、積川)と山滝小の生徒を集約する事とすれば、計画の山滝中学校に設置するより、生徒数が多くなり、学校敷地も広く利用出来ると思う。</p> <p>また、今後の適正規模、配置を考えるのであれば、丘陵地区等に小中一貫校を作り、光明小学校区の一部を含くみ考える必要があると思う。</p> | <p>①令和2年11月に策定しました今回の第1期計画(案)について、本来であればもっと早く説明会を実施すべきでありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、集会在り制限されていたことから、開催が遅れたことをお詫び申し上げます。その間、稲葉町内会様以外の団体や、市民の皆様からも多くご意見・ご要望をいただいているところですが、教育委員会としては、まずは当初策定した第1期計画(案)について広く市民の皆様へ説明する必要があるため、今回はその内容の説明会としています。今後は、各団体からのご意見・ご要望や、市民の皆様からのご意見も踏まえつつ、子どもたちの教育環境の向上等に資する内容については、計画案に反映し、より良い計画を策定していきます。</p> <p>②No.1の回答のとおり、山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見や、山直南小学校区に小中一貫校の設置を、といったご意見を多くいただいています。教育委員会では、地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p> |
| 3  | <p>絶対反対</p> <p>説明会の回答は何も回答になっていません。</p> <p>ただご了承下さいだけでは納得できません。</p>   | <p>今後も引き続き、丁寧な説明と話し合いを行い、より良い案としていきたいと考えています。</p>   |

11月22日(月)開催 (山直南校区)

| 番号 | ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)  | 教育委員会の回答・考え方   |
|----|--|--|
| 4  | <p>適正規模のアンケートを取ったと言われるが質問がゆうどうではないか、山直南が問題であるという声があったのか？<br/>           何の調査により小規模のデメリットが多いとなったのか？いじめ、学校の近さ、感染症など小規模のメリットは明らかに多い。小学校別のコロナ休校回数を出してください。<br/>           学校が遠くなった際に事故やいじめが増加すればこの案の計画者全員で責任をとれますか？<u>小中一貫はのそんでいない</u>。中学校単位ではなく地域に合わせた校区見直しで対応できる。<br/>           (下線部) →私立中学校助成や岸和田市内にゆうちすればいい。<br/>           案といいながら一つの案を住民におしつけるのはおかしい。<br/>           ホームページに今後のお金がかかるとあるが新しいものを作る方がお金がかかる。お金の問題なら市役所を小さくして山手の小学校内に分散すれば良い(災害対策として地域に小学校は必要、分散することで市役所機能バックアップともなる。)<br/>           なぜ山直中学校より古くからある山直南地区を分割するのか？考え方には山直南を基本に地域ととらえるべき。調節地区を定めるべき分割される地区が学校を選択出来るべき、である。<br/>           市街化調整区域を見直し住民増加を促すべきで、住民が多い地域の開発を逆に制限すべき。<br/>           少ない小学校合同音楽会や運動会で対応可能。<br/>           岸和田市の赤字はゴミ処理場や第3セクター失敗した職員、市長(過去)が責任をとるべきで教育にはたくさん予算をつかう必要がある。<br/>           小中の教員免許がある人が子どもにとって良いというデータはあるのか？<br/> <u>いじめや不登校、学力が低い地域ほどこの今の岸和田の現状がふまえて小中一貫が山手地区に必要なのか</u><br/>           (下線部) →データだせ。<br/>           中学生・小学生が同じ学校にいることでいじめ・悪意のある関わりが増えると思う。<br/>           中一ギャップは他の方法で改善すべき(中学校の質を考えるべき)私は小中別場所を強くのぞむ。<br/>           山直南は残してバリアフリー化、ICT、英語教育、交換留学など小規模でしか出来ない対応をすすめ、岸和田全体から希望者がかよえる小学校にすればよい。修斉と山直南ですれば普通学級での障がい児受け入れが出来るのでは？山手小学校(修斉と山直南)の中に岸和田養護学校を分散すれば良い。<br/>           山直南がなくなれば地域住民が災害時にひなでできない 3~4kmも高齢者は移動出来ない。<br/>           小学校がなくなれば地区コミュニティはなくなってしまう。市の担当者の返答ではなくならないとなっているがうそじか思えない。<br/>           国の基準とあるが小1、2年に3~4kmの通学は難しい 歩いて行けない、バスでは運動発達上良くない。<br/>           山滝、山直南小学校は残し 中学校区のみ見直しをして包近も中学生になれば山滝中学校に進学すればいいのでは？山滝中学校を山直南・山滝中学校とすればいい。山滝小・山直南小をそれぞれ中学校付ぞく小学校(2つとなれば)</p> | <p>①アンケートについて、平成30年度に実施した調査は、適正規模・適正配置を検討するにあたり、岸和田市の特色や実情を踏まえるための参考として市内全域を対象としたものであり、学校規模の違いによる特性等を把握するため、学校規模別に分類し、集計しています。質問はデメリットだけではなく、メリットについても伺っており、その内容については、市のホームページで公開しています。<br/>           ②小規模校のメリットについては承知しておりますが、小規模校における感染対策上の優位性の有無については、国においても、明確なエビデンス(根拠や証拠)は示されていません。<br/>           ③コロナ休校回数について、令和3年度における12/15までの新型コロナウイルス感染症陽性者判明による臨時休業の回数は次のとおりです。回数については、臨時休業期間の長さに関わらず連続する期間で1回と数えています。<br/>           城内小学校3回、朝陽小学校2回、東光小学校1回、旭小学校1回、天神山小学校1回、春木小学校1回、大芝小学校1回、大宮小学校2回、城北小学校1回、新条小学校1回、八木小学校2回、八木南小学校2回、常盤小学校5回、城東小学校1回<br/>           なお、いずれの場合も在籍クラスを超えて感染が拡大することはありませんでした。<br/>           ④通学路の安全対策やいじめの防止と解決については、適正規模・適正配置の取組と並行して、市全体の重点施策として引き続き取り組んでいきます。<br/>           ⑤私立中学校の助成や小中一貫校の誘致についてはご意見として承ります。<br/>           ⑥市役所機能の分散化についてはご意見として承り、あるいは担当部署に伝えます。<br/>           ⑦学校選択制や、市街化調整区域の見直しについてはご意見として承り、担当部署にも伝えます。<br/>           ⑧学校行事を合同で行うことについては、小規模校の一方策として承知していますが、教育委員会としては、日頃から集団規模が確保された教育環境を整えることが大切であると考えています。<br/>           ⑨教育予算について、子どもたちの教育の充実に向けて、必要な予算の確保に努めていきます。<br/>           ⑩教員免許について、小中両方の教員免許を所持している教員は、小学校、中学校いずれにおいても授業の実施が可能となり、相互乗り入れ指導を行う上で利点となります。<br/>           ⑪いじめや不登校の認知件数及び全国学力・学習状況調査等による学力について、学校規模の大小や地域性が相関しているという傾向は確認されていません。なお、本市における学力調査の結果については、市のホームページで公表しています。<br/>           ⑫中1ギャップの課題については、小中一貫教育をはじめ、様々な方策によりその解消に努めます。<br/>           ⑬小中一貫校ではいじめ等が増えるといったご意見について、先進事例においては、中学生が小学生の模範となる意識が醸成されることで、問題行動が減少したという成果を伺っています。<br/>           ⑭山直南小学校における取組内容の事例についてはご意見として承ります。<br/>           ⑮災害時のご意見について、学校は、教育施設としての機能だけではなく、防災や地域コミュニティの拠点としての機能を果たしてきたことから、それらの機能については、地域の方々のご意見も踏まえ、市長部局とも連携し必要な対策を講じます。<br/>           ⑯通学距離については、国の基準にとらわれず、他地域との均衡も鑑みつつ、必要な場合はスクールバス等を導入します。乗降場所等運用の詳細については、今後、地域・保護者の皆様のご意見も踏まえ検討します。<br/>           ⑰通学区域について、No.1の回答のとおり、山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見を多く頂戴しています。教育委員会としても地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画を作っていきたくと考えます。</p> |

11月22日(月)開催 (山直南校区)

| 番号 | ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)   | 教育委員会の回答・考え方   |
|----|---|--|
| 5  | <p>子どものためと言いますが、大規模校の方が、子どもに寄り添うことができるのでしょうか。目の行き届かない子どもが増えたり、いじめ事象が増えたりしないでしょうか。</p> <p>また、支援学級が増えて一クラスが40人以上になったりしないでしょうか。</p> <p>現場の先生方の声もお聞かせ下さい。</p> <p>包近、山直中が、山滝に入る案も提示していただきたい。</p> <p>住民投票はしないんでしょうか。</p>  | <p>①適正規模・適正配置の取組は、大規模の学校にする取組ではなく、例えば小学校ではクラス替えができる程度の規模の学校を、市内全域でバランスよく配置することにより、子どもたちの教育環境をより良くすることが目的です。</p> <p>②通常学級の学級編制における基礎となる児童数には、支援学級在籍児童を除いているため、支援学級在籍児童が通常学級に戻り学習活動を行う際には40人を超える場合があります。この課題については、教育委員会としてもその解消に向けて国・府へ要望するとともに、市長部局に対しても必要な予算措置を求めているところでです。</p> <p>③小中学校の校長、教頭、教職員の代表等で構成される「岸和田市小中一貫教育推進会議」における毎回の会議録については、市のホームページで公開しています。</p> <p>④山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見を多くいただいていることから、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p> <p>⑤今後、地域・保護者の皆様のご意見をお聞きし、教育委員会の考え方もご説明したうえで、より良い案としていきます。そのうえで、市とともに方針を決定し、市議会でご審議をいただいて決定していきますので、住民投票を行う予定はありません。</p> |
| 6  | <p>山直南小へ通う4町の子どもたちを今までのように中学校区で分けていたのを見直してほしい。小学校の統廃合をするのならば、今、同じ時期に見直せるのではないのでしょうか？</p> <p>包近、山直中の少人数の子どもたちを大規模校である山直小に通わせるのは不安です。きめ細やかな指導を今のように受けることはできるのでしょうか？</p> <p>山直南小は小規模校でありながら、現在、支援学級数が4クラスです。支援を必要とする子どもの割合が多いなか、目が届きにくなり、必要な支援がうけられるのでしょうか？子ども達の実態に合わせた適正配置を実施してほしいと思います。</p> <p>山直南小に通う4町の子ども達を同じ中学校に通える案を出してほしいです。</p> | <p>No.1の回答のとおり、山直南校区の児童が中学校進学の際、2つの中学校に分かれて進学することは、教育委員会としても、友達と学校が分かれてしまったり、義務教育9年間の連続した学びを提供する上で課題があると考えており、適正規模・適正配置の取組を通じて解消していきたいと考えています。第1期計画案では、既存の中学校区を単位とした再編案をお示ししているところですが、説明会においても、山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見を多くいただきました。教育委員会としても地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p> <p>なお、支援を必要とする児童生徒の対応については、介助員・支援員の配置とともに、きめ細やかな支援を切れ目なく行います。</p>   |
| 7  | <p>☆山直南小学校をなくさないでほしいです。</p> <p>☆ゆめみが丘の住民、生まれてくる子どもの事も考えてほしいです。「新しい町」力を入れて下さい。</p> <p>☆包近町、山直中町の児童は、山滝中学校へ進学させると、地域差が少ないと思います(私の息子が、中学進学時、20年位前にそういった案がありました)</p> <p>☆子ども達の事を一番に考えてほしいです。</p>  | <p>No.1の回答のとおり、第1期計画案では、既存の中学校区を単位とした再編案をお示ししているところですが、説明会においても、山直南校区の児童が同じ中学校に進学することを望むご意見を多くいただきました。教育委員会としても地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p>  |
| 8  | <p>1.教育委員会の案には反対！</p> <p>2.山直南小の廃校は、コミュニティーの分解、ホウ壤につながる。</p>  | <p>学校は、何よりもまず、子どもたちの教育のための場であり、将来にわたって、子どもたちにより良い教育環境、教育内容を保障していくことを最優先に取組を進めていきたいと考えます。それによる地域コミュニティへの影響については、地域の皆様のご意見も踏まえ、市長部局とともに必要な支援を行います。</p>   |

11月22日(月)開催 (山直南校区)

| 番号 | ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)   | 教育委員会の回答・考え方   |
|----|---|--|
| 9  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校はもっと考えてモデル校をするなりじっくりと進めてほしい。</li> <li>・山直南校だけでなく適正配置という名のもとに住民の気持ちや子ども達のことを考えていない統合だと思えます。</li> <li>・学校がなくなれば人口も減ります。どんだんかそ化すれば岸和田の発展はないと思います。</li> <li>・クラス数が少なくても良い教育はできます。</li> </ul>   | <p>①小中一貫校を含む小中一貫教育については、文部科学省において実施の際の手引が示され、既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。文部科学省の調査では、H26年とH29年の調査ともに、導入済みの自治体のうち、95%を超える割合で大きな成果が認められる、または成果が認められるとの回答があり、教育的効果が期待できると考えています。一方、課題が認められるとする割合については、H26年の調査では77%であったものが、H29年では53%に減少しており、各自治体において課題を解消するための取組が構築されてきたものと考えます。今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」においても必要な対応について引き続き検討します。</p> <p>②これからの子どもたちに、より良い教育環境、教育内容を保障していくことを最優先に考え、地域の皆様と十分な協議を重ねながら、適正規模・適正配置の取組を進めていきます。</p> <p>③人口の社会増に向け、子育て世代に岸和田市を選択してもらうためには教育環境、教育内容の充実が重要であると考えます。それに向けて、小規模化している学校をそのままに、現在ある学校の数を維持するのではなく、適正規模・適正配置及び小中一貫教育の取組の推進により魅力ある学校づくりを進めることが必要であると考えています。</p> |
| 10 | <p>小学校の適性範囲は、4kmとあるが、低学年は、難しい。<br/>                 統合しても、何年か後には、また統合しなければいけないのでは？<br/>                 市として、守りに入らず、もっと、人口を増やす事を考え、現在の調整区域を緩和し、市外に出る人の流出をなくし、市外の人を取り込み、企業を増やして、税収を増やして、現在の学校配置でいける様に考えて下さい。<br/>                 今でも、子供は、学校から帰って来るだけで、夏は汗だくで、熱中症等もおこる。<br/>                 少人数での教育に賛成です。</p> | <p>①文部科学省は、通学距離について、小学校は概ね4km以内としているものであり、4kmが小学校の適正範囲というものではありません。児童生徒の通学環境については、安心・安全を最優先に必要な対応を行います。</p> <p>②市街化調整区域の緩和等のご意見については担当部局に伝えます。</p> <p>③魅力あるまちづくりや、教育の充実を図るための様々な施策については、今後も市長部局とともに取り組んでいきます。</p>  |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・案が1つしかなく、残念</li> <li>・小中一貫にするにあたり子供が行きたくなくなるような学校を作ってほしい。(ありものの学校でなく新規で)</li> <li>・単なる統合でお金をかけず、おし込む内容が表れている。</li> </ul>  | <p>施設の整備にあたっては、地域・保護者・児童生徒のご意見も踏まえながら、設計時にその内容を反映させる等の工夫を図り、子どもたちにとって魅力ある学校づくりに努めます。</p>   |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模及び適正配置実施計画については異論ありません。</li> </ul> <p>が、たたき台ならば山滝中学校と山直南小学校の案も作成してください。</p>   | <p>①市と教育委員会として、学校の小規模化の現状や、市内の学校の配置状況、今後の人口や児童・生徒数の推移、岸和田市が置かれた全般的な環境など、様々な観点を踏まえて、最適と思われる内容を一つにしてお示ししたものです。いくつかの案を提示することとなれば、市・教育委員会としての主体性が問われ、その責任を果たすことにはならないと考えます。</p> <p>②山直南小学校区に小中一貫校の設置を、といったご意見も多くいただいています。教育委員会としても地域・保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めた上で、今後も引き続き、話し合いを重ね、より良い計画の策定に向けて努めていきます。</p>   |
| 13 | <p>やっぱり、夢見や、泉州山手線沿道の宅地開発（すでに山直北・光明は図面が出来ています）後の人口動態を加味した児童数の変化を示さなければまずいですね。<br/>                 今日演説が多いなあ この地域の高令者のお話を聞いていると、市街化区域に反対して、調整地域にしたのは誰だったんだろうと思う。山直南や修済の人々は、今や市街化区域を望んでいるのかなあ</p>   | <p>教育委員会としては、開発担当部局の意見を聞いたうえで、ゆめヶ丘の住宅開発による児童・生徒数の今後の推移も想定しながら、今回の計画案をお示ししました。住民説明会では、500人の児童・生徒数の増が見込めるとのご意見をお聞きしたところであり、教育委員会の見込みを大きく上回ることから、今後、地域の皆様と協議していく中で、双方の数字を突き合わせ、その根拠等を確認したうえで、より確かな児童生徒数のシミュレーションを行います。</p>  |